

# 国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業

## 見積参考資料

令和6年9月

国土交通省中部地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分考慮して、設計、工事、維持管理、調整マネジメント等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

#### 資料一覧

1. 見積参考資料(工事業務)
2. 見積参考歩掛・資材単価(工事業務)
3. 見積参考資料(詳細設計業務、調整マネジメント業務(設計段階)、 工事業務、調整マネジメント業務(工事段階)、 工事監理業務、調整マネジメント業務(維持管理段階))
4. 見積参考資料(点検業務(定期点検、巡回)、補修業務)
5. 見積参考歩掛(詳細設計業務、調整マネジメント業務(設計段階)、 調整マネジメント業務(工事段階)、工事監理業務、 調整マネジメント業務(維持管理段階)、点検業務(定期点検)、 点検業務(巡回)、補修業務)
6. 見積参考資料(その他施設費(割賦手数料))

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

国土交通省 中部地方整備局  
三重河川国道事務所 道路管理第二課

## 見積参考資料（積算条件）

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)		主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	一般交通影響有り（1）-1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	一般交通影響有り（1）-1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 週休2日（閉所）4週8休以上（月単位）		

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設㉞-I LSP-1型	m		3,379		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(材料費)(仮設㉞-I) LSP-1型 t=4mm L=2.0m(中古品)使用:226回 腹起し(材料費)(仮設㉞-I) 角 $\text{ハ}^\circ\text{イ}^\circ$ 100×100 t=3.2mm 使用:226回 切梁(材料費)(仮設㉞-I) $\text{ハ}^\circ\text{イ}^\circ\text{ホ}^\circ\text{ト}$ 0.4m~0.9m 使用:226回	m	200	
							t	16.64	
							m	200	
							本	67	
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設㉞-II(管路部) LSP-1型	m		50		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(材料費)(仮設㉞-II(管路部)) LSP-1型 t=4mm L=2.0m(中古品)使用:4回 腹起し(賃料(基本料有り))(仮設㉞-II(管路部)) 角 $\text{ハ}^\circ\text{イ}^\circ$ 100×100 t=3.2mm 供用:70日 使用:4回 切梁(賃料(基本料有り))(仮設㉞-II(管路部)) $\text{ハ}^\circ\text{イ}^\circ\text{ホ}^\circ\text{ト}$ 0.9m~1.2m 供用:70日 使用:4回	m	200	
							t	16.64	
							m	200	
							本	67	

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事								
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項								
						名称	単位	数量						
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設⑦-II(特殊部) LSP-1型	m		18		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(材料費)(仮設⑦-II(特殊部)) LSP-1型 t=4mm L=2.0m(中古品) 使用:9回 腹起し(賃料(基本料有り))(仮設⑦-II(特殊部)) 角ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:40日 使用回数:9回 切梁(賃料(基本料有り))(仮設⑦-II(特殊部)) ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:40日 使用:9回	m	200	t	16.64	m	200	本	67
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設⑦-III(管路部) LSP-1型	m		162		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(材料費)(仮設⑦-III(管路部)) LSP-1型 t=4mm L=2.0m(中古品) 使用:11回 腹起し(賃料(基本料有り))(仮設⑦-III(管路部)) 角ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:140日 使用:11回 切梁(賃料(基本料有り))(仮設⑦-III(管路部)) ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:140日 使用:11回	m	200	t	16.64	m	200	本	67
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設⑦-III(特殊部) LSP-1型	m		67		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(材料費)(仮設⑦-III(特殊部)) LSP-1型 t=4mm L=2.0m(中古品) 使用:16回 腹起し(賃料(基本料有り))(仮設⑦-III(特殊部)) 角ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:100日 使用:16回 切梁(賃料(基本料有り))(仮設⑦-III(特殊部)) ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:100日 使用:16回	m	200	t	16.64	m	200	本	67
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設⑧-大型 LSP-2型	m		10		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(賃料(修理費損耗費有り))(仮設⑧-大型) LSP-2型 t=4mm L=2.5m 供用:40日 使用:4回 腹起し(賃料(基本料有り))(仮設⑧-大型) 角ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:40日 使用:4回 切梁(賃料(基本料有り))(仮設⑧-大型) ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:40日 使用:4回	m	200	t	21.336	m	400	本	160

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項								
						名称	単位	数量						
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設⑩-Ⅲ LSP-3A型	m		123		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(材料費)(仮設⑩-Ⅲ) LSP-3A型 t=4mm L=2.5m(中古品)使用:38回 腹起し(賃料(基本料有り))(仮設⑩-Ⅲ) 角ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:85日 使用:38回 切梁(賃料(基本料有り))(仮設⑩-Ⅲ) ハ°イ°サ°ト 1.2m~2.1m 供用:85日 使用:38回	m	200	t	21.336	m	400	本	160
軽量鋼矢板(電線共同溝)	仮設⑩-大型 LSP-3A型	m		85		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(賃料(修理費・損耗費有り))(仮設⑩-大型) LSP-3A型 t=4mm L=3.0m 供用:85日 使用:18回 腹起し(賃料(基本料有り))(仮設⑩-大型) 角ハ°イ° 100×100 t=3.2mm 供用:85日 使用:18回 切梁(賃料(基本料有り))(仮設⑩-大型) ハ°イ°サ°ト 2.1m~3.2m 供用:85日 使用回数:18回	m	200	t	25.603	m	400	本	200
交通管理工		式		1										
交通誘導警備員	A 夜間	人日		2,560		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1						
交通誘導警備員	B 夜間	人日		12,800		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1						
舗装版撤去工		式		1										
舗装版破碎工		式		1										

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	アスファルト殻	m3		198		< 1 m3当り > 運搬 (電線共同溝工) 積載区分=アスファルト塊; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下;	m 3	1	
殻処分	アスファルト殻	m3		198		< 1 m3当り > 処分費 (m 3)	m 3	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t ≤ 15cm	m2		2,340		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込 (電線共同溝工)	m 2	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cm < t ≤ 30cm	m2		320		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込 (電線共同溝) アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削	土砂	m3		4,800		< 1 m3当り > 床掘り (電線共同溝工)	m 3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締固め	中埋砂	m3		1,700		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め (電線共同溝工) 土質=中埋砂;	m 3	1	
埋戻し・締固め	土砂	m3		540		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め (電線共同溝工) 土質=土砂;	m 3	1	

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
残土処理工		式		1					
土砂等運搬		m3		4,200		< 1 m3当り > 運搬(電線共同溝工) 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=3.5km以下;	m3	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路	結束型多条管 φ50	m		43,972		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路	結束型多条管 φ81	m		4,111		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路	結束型多条管 φ100	m		11,681		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路	結束型多条管 φ130	m		13,781		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路	FA管 φ150	m		4,101		< 100 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置; 管路受台(スペーサ)(材料費)	m 個	100 50	
埋設管路	SGP 50A	m		691		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 SGP 50A	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	SGP 80A	m		103		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 SGP 80A	m	1	
埋設管路	SGP 100A	m		308		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 SGP 100A	m	1	
埋設管路	SGP 125A	m		454		< 1 m当り > 管路材設置 埋設部 SGP 125A	m	1	
コンクリート	18-8-40(高炉)	m3		8		< 1 m3当り > コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m 3	1	
型枠	一般型枠	m2		17		< 1 m2当り > 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=小型構造物;	m 2	1	
基礎材	再生クラッシュ RC-40 t=10cm	m2		2,853		< 1 m2当り > 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュ 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
埋設標示鋳	φ30×30 アルミ合金	個		364		< 1 個当り > 埋設標示鋳設置 (手間のみ) φ30×30 アルミ合金 埋設標示鋳 (材料費) φ30×30 アルミ合金	個 個	1 1	
埋設標示プレート	100×50 アルミ製	枚		60		< 1 枚当り > 埋設標示プレート設置 (手間のみ) 100×50 アルミ製 埋設標示プレート (材料費) 100×50 アルミ製	枚 枚	1 1	
銘板	アクリル板 250×120	枚		170		< 1 枚当り > 銘板設置 (手間のみ) アクリル板 L250×W120×t3 銘板 (材料費) アクリル板 L250×W120×t3	枚 枚	1 1	

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
地中管路防護板(1)	廃ﾌﾟﾗﾝｸ 600×900	枚		4,338		< 1 枚当り > 地中管路防護板設置(手間のみ) 廃ﾌﾟﾗﾝｸ 450×900・600×900 地中管路防護板(材料費) 廃ﾌﾟﾗﾝｸ 600×900	枚 枚	1 1	
地中管路防護板(2)	廃ﾌﾟﾗﾝｸ 450×900	枚		618		< 1 枚当り > 地中管路防護板設置(手間のみ) 廃ﾌﾟﾗﾝｸ 450×900・600×900 地中管路防護板(材料費) 廃ﾌﾟﾗﾝｸ 450×900	枚 枚	1 1	
ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ工(特殊部)		式		1					
ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ (接続部I型)ﾚｼﾞﾝ	1200×1500×3000	箇所		38		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ﾗﾌﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数=標準以外; ﾗﾌﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数(実数入力)=1.22 無; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=ﾊﾞｯｸｯｸ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート; モルタル練 ﾙﾒﾝﾄ種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; 排水ピット 支持受金物(材料費) ﾚｼﾞﾝ用 L=1391 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋(材料費) φ810 歩道用(受枠・ｼﾝｸﾞﾙ-錠含む)	個  m3  m2 m3  箇所 個 組  組	10  6  3.5 1.3  20 60 20  20	



# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス (本線横断I型)	1200×1900×4500					< 10 箇所当り >		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス <sup>°</sup> ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;	個	10
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス <sup>°</sup> ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;	個	10
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス <sup>°</sup> ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;	個	10
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス <sup>°</sup> ロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;	個	20
						継壁 KB-0	個	10
						継壁 KB-1	個	10
						継壁 KT-T-1	個	10
						継壁 KT-E-1	個	10
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下;	組	20
						蓋(材料費) φ810 歩道用(受枠・シリング-錠含む)	組	20
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パ <sup>°</sup> ックホ <sup>°</sup> (クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	15
モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	2.8						
型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート;	m <sup>2</sup>	19						

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
						排水ピット	箇所	30
						支持金具 (材料費) T-B タイフ	個	30
						支持金具 (材料費) T-BJ タイフ	個	20
						支持金具 (材料費) E-B1 タイフ	個	30
						支持金具 (材料費) E-B3 タイフ	個	40
						支持金具 (材料費) T-K タイフ	個	10
						受金具 (材料費) L=250	個	90
						受金具 (材料費) L=200	個	40
		箇所		1		< 10 箇所当り >		
プレキャストボックス (通信接続部Ⅱ型)	500×1050×2000					プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレソクレン賃料補正係数=標準以外; ラフレソクレン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;	個	10
						継壁 C-2-1(C-2-2)	個	20
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パックホウ(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	2.7
						型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート;	m <sup>2</sup>	2.2
						モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	0.4
						排水ピット	箇所	20
						ケーブル仕切金物 (材料費) φ32 樹脂被覆	個	10
						立金物 (材料費) L=340	個	50
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;	組	10
						蓋 (材料費) 500×2000 通信接続部用 (受枠・シリンダー錠含む)	組	10
		箇所		9				

## 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事													
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項														
						名称	単位	数量												
プレキャストボックス (開閉器)レジン	浅層型 900×900 ×2000	箇所		7		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準以外; ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.22 無; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッカー(ク ン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生 工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; 排水ピット 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋(材料費) 1020×1100 開閉器浅層型用(受枠・シン ダー錠含む)	個	10	m <sup>3</sup>	3.5	m <sup>2</sup>	2.8	m <sup>3</sup>	0.7	箇所	10	組	10	組	10

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (変圧器)レジン	浅層型 900×900 ×3400	箇所		1		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準以外; ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッカー(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; 排水ピット 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋(材料費) 710×1000 変圧器浅層型用(受枠・シリンダー錠含む)	個   m <sup>3</sup>  m <sup>2</sup>  m <sup>3</sup>  箇所 組  組	10   5.5  2.8  1.1  10 10  10	





# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (変圧器・開閉器)レン	本体車道型 900× 1200×5700	箇所		2		< 10 箇所当り >			
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッドホウ(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; 排水ピット 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋(材料費) φ810 車道用(受枠・シソグ-錠含む)	個   m <sup>3</sup>  m <sup>2</sup>  m <sup>3</sup>  箇所 組  組	   8.7  2.8  1.8  20 20  20	
緑石工		式		1					
緑石工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック	2型A	m		2,000		< 100 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満); m当り歩車道境界ブロック使用量(実数入力)=1.65個/m; 基礎砕石規格=無し; 均し基礎コンクリート規格=無し; コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート;	m	100	
			m <sup>3</sup>	4.6					
		m <sup>2</sup>	38						
歩車道境界ブロック	4型	m		200		< 100 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満); m当り歩車道境界ブロック使用量(実数入力)=1.65個/m; 基礎砕石規格=無し; 均し基礎コンクリート規格=無し; コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート;	m	100	
			m <sup>3</sup>	4.9					
		m <sup>2</sup>	38						
排水構造物工		式		1					
排水構造物工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管(函)渠型側溝	D300 A形	m		1,900		< 100 m当り > 管(函)渠型側溝 作業区分=据付; 内径又は内空幅(mm)=200mm以上300mm以下; 基礎碎石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用; 床掘り 土質=土砂; 施工方法=上記以外(小規模); 費用の内訳=全ての費用; 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模); 土質=土砂; 費用の内訳=全ての費用;	m	100	
							m <sup>3</sup>	25	
							m <sup>3</sup>	21	
プレキャストU型側溝	PU1-400A	m		1,900		< 100 m当り > U型側溝 作業区分=据付け; L=1000mm・L=4000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=有り; U型側溝の種類=道路用鉄筋コンクリート側溝 1種 JIS A 5372; U型側溝の規格=400A 400×400×2000; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎碎石施工の有無=有り; 基礎碎石の種類=再生クラッシュ 40~0; 基礎碎石設計数量(実数入力)=0.56 m <sup>3</sup> /10m; 床掘り 土質=土砂; 施工方法=平均施工幅1m以上2m未満; 土留方式の種類=無し; 障害の有無=有り; 埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満; 基面整正	m	100	
							m <sup>3</sup>	110	
							m <sup>3</sup>	66	
							m <sup>2</sup>	56	
舗装工		式		1					
アスファルト舗装工 車道舗装		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 350mm	m2		311		< 1 m2当り > 下層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)=350 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		311		< 1 m2当り > 上層路盤 (車道・路肩部) 材料=粒度調整砕石 M-40; 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(各種) 再生瀝青安定処理材 (40) 仕上り厚 100mm	m2		311		< 1 m2当り > 上層路盤 (車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=100 mm; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
基層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚5	m2		311		< 1 m2当り > 基層 (車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
中間層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 改質AS粗粒II型(20)(DS3000) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均	m2		311		< 1 m2当り > 中間層 (車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満)改質AS密粒II型(20)(DS3000)舗装厚50mm 1.4m未満(1層当り平均)	m2		311		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
透水性舗装工 歩道舗装A		式		1					
フィルター層	砂 仕上り厚 100mm	m2		2,850		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=100mm以上120mm未満;	m2	1	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2		2,850		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=100mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
表層	透水性アスファルト混合物 歩道用 1.4m未満 舗装厚 40mm	m2		2,850		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m未満; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40mm; 材料=各種(1.90以上2.00t/m3未満);	m2	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
運搬費		式		1					
仮設材運搬費		t		2.4		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=関東・中部・近畿；片道運搬距離(実数 入力)=3.5 km；製品長区分=12m以内；運搬割増率= 各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；そ の他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み、取卸し(片道分)；	t	1	
技術管理費		式		1					
道路台帳作成費		式		1		道路台帳作成費	式	1	
現場環境改善費(率計上)		式		1		市街地補正=市街地			
共通仮設費(率計上)		式		1		施工地域補正=一般交通影響有り(1)-1；除雪 工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2日の 補正=週休2日(閉所)4週8休以上(月単位)			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=一般交通影響有り(1)-1；緊急 工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない； ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2日(閉所)4週8休以上(月単位)			

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分7 間接労務費対象 労務費						
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				事業区分	共同溝・電線共同溝			
	細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
	殻処分	アスファルト殻	m3	198	○				

## 見積参考資材単価(工事業務)

品名	規格	単位	単価	単価適用地域	備考
支持受金物	レジン用 L=561	個	8,870	中部地方整備局管内	
支持受金物	レジン用 L=1791	個	13,400	中部地方整備局管内	
プレキャストブロック(接続部 I 型)	レジン製 W1200×H1500×L3000	個	1,380,000	三重県	
プレキャストブロック(本線横断 I 型)	レジン製 W1200×H1900×L4500	個	2,480,000	三重県	
プレキャストブロック(通信接続部 II 型)	W500×H1050×L2000	個	293,000	三重県	・金物類は横平鋼のみ含む
継壁(通信接続ブロック用)	t100×B720×H1160	個	114,000	三重県	
プレキャストブロック(開閉器浅層型)	レジン製 W900×H900×L2000	個	692,000	三重県	
プレキャストブロック(変圧器浅層型)	レジン製 W900×H900×L3400	個	1,040,000	三重県	
プレキャストブロック(変圧器・開閉器浅層型)	レジン製 W900×H900×L5700	個	1,670,000	三重県	
プレキャストブロック(開閉器本体車道型)	レジン製 W900×H1200×L2300	個	1,640,000	三重県	
プレキャストブロック(変圧器・開閉器本体車道型)	レジン製 W900×H1200×L5700	個	3,000,000	三重県	
鋳鉄蓋	φ810 歩道用(受枠・シリンダー錠含む)	組	328,000	中部地方整備局管内	シリンダー錠2個/組合む

## 見積参考資材単価(工事業務)

品名	規格	単位	単価	単価適用地域	備考
鑄鉄蓋	φ810 車道用(受枠・シリンダー錠含む)	組	349,000	中部地方整備局管内	シリンダー錠2個/組合む
鑄鉄蓋	1020×1100 開閉器浅層型用(受枠・シリンダー錠含む)	組	545,000	中部地方整備局管内	シリンダー錠2個/組合む
鑄鉄蓋	710×1000 変圧器浅層型用(受枠・シリンダー錠含む)	組	363,000	中部地方整備局管内	シリンダー錠2個/組合む
鑄鉄蓋	500×2000 通信接続部用(受枠・シリンダー錠含む)	組	564,000	中部地方整備局管内	シリンダー錠4個/組合む
パイプサポート賃料	0.41m~0.62m	本・日	2.2	中部地方整備局管内	賃貸業者置場渡し・戻し
パイプサポート基本料	0.41m~0.62m	本	75	中部地方整備局管内	賃貸業者置場渡し・戻し
支持金具	T-Bタイプ	個	13,400	中部地方整備局管内	
支持金具	T-BJタイプ	個	15,400	中部地方整備局管内	
支持金具	T-Kタイプ	個	8,870	中部地方整備局管内	
支持金具	E-B1タイプ	個	17,000	中部地方整備局管内	
支持金具	E-B3タイプ	個	8,870	中部地方整備局管内	
ケーブル仕切金物	φ32 樹脂被覆	個	8,720	中部地方整備局管内	

## 見積参考資材単価(工事業務)

品名	規格	単位	単価	単価適用地域	備考
プレキャストブロック	BC-Mタイプ	個	617,000	三重県	
プレキャストブロック	BCタイプ	個	579,000	三重県	
プレキャストブロック	B-Mタイプ	個	583,000	三重県	
横断管路取付ボックス	W800×H700×L500	個	97,000	三重県	
継壁	KB-0	個	160,000	三重県	
継壁	KB-1(マルチロックシール材充填含む)	個	222,000	三重県	
継壁	C-2-1・C-2-2(マルチロックシール材充填含む)	個	86,200	三重県	
継壁	KT-T-1	個	113,000	三重県	マルチロックシール材充填を含む
継壁	KT-E-1	個	113,000	三重県	マルチロックシール材充填を含む
レジコンエコブロックベルマウス	φ81×1	個	7,180	中部地方整備局管内	150mmタイプ
レジコンエコブロックベルマウス	φ50×6	個	13,000	中部地方整備局管内	150mmタイプ
レジコンエコブロックベルマウス	φ50×19 角型FEPφ50×3条 長さ150mm	個	7,660	中部地方整備局管内	

## 見積参考資材単価(工事業務)

品名	規格	単位	単価	単価適用地域	備考
レジコンエコブロックベルマウス	φ50×19 角型FEPφ50×4条 長さ150mm	個	8,930	中部地方整備局 管内	
ロングベルマウス	角型FEP管 130×1 150mmタイプ°	個	2,840	中部地方整備局 管内	ハンドホール壁厚 120mmまで対応
ロングベルマウス	角型FEP管φ81用 150mmタイプ°	個	1,580	中部地方整備局 管内	ハンドホール壁厚 120mmまで対応
ロングベルマウス	角型FEP管φ50用 150mmタイプ°	個	1,420	中部地方整備局 管内	ハンドホール壁厚 120mmまで対応
砂	クッション用	個	5,100	中部地方整備局 管内	
レジコンエコブロックベルマウス	φ130×2	個	19,200	中部地方整備局 管内	
レジコンエコブロックベルマウス	φ100×2	個	15,500	中部地方整備局 管内	
レジコンエコブロックベルマウス	φ50×4	個	8,930	三重県	
レジコンエコブロックベルマウス	φ50×3	個	7,660	三重県	
受金具	レジン用 L=250	個	3,690	中部地方整備局 管内	
受金具	レジン用 L=200	個	3,610	中部地方整備局 管内	
指示受金具	レジン用 L=1391	個	11,100	中部地方整備局 管内	
立金物	L=340	個	4,990	中部地方整備局 管内	
地中管路防護板	廃プラ板 600×900	個	2,720	中部地方整備局 管内	

## 見積参考資材単価(工事業務)

品名	規格	単位	単価	単価適用地域	備考
地中管路防護板	廃プラスチック板 450×900	個	2,210	中部地方整備局管内	
埋設標示鋌	φ30×30 アルミ合金	個	2,080	中部地方整備局管内	
埋設標示プレート	100×50 アルミ製(アンカーピン含む)	個	4,000	中部地方整備局管内	
銘板	アクリル板 L250×W120×3 アンカーピン付	個	8,250	中部地方整備局管内	

## 見積参考歩掛(工事業務)

単-1号 埋設管路 SGP 50A

1m当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
埋設管路	SGP 50A	m	1	単-1-1			

単-1-1 埋設管路 SGP 50A

100m当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.480		●		
特殊作業員	夜間	人	0.960		●		
普通作業員	夜間	人	2.880		●		
バックホウ(クローラ型)運転	後方超小旋回型・クレーン機能付き・排対型(2014年規制) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)吊能力1.7t	日	0.960	単-1-2号			
諸雑費1		%	3.000				
日当たり施工量:104m 諸雑費1は、清掃器具(掃除機)、管路材の接続・切断に要する器具(大バール・大ハンマ・ディスクグラインダ・発動発電機)、導通試験機の損料及び運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。							

単-2号 埋設管路 SGP 80A

1m当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
埋設管路	SGP 80A	m	1	単-2-1			

単-2-1 埋設管路 SGP 80A

100m当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.740		●		
特殊作業員	夜間	人	1.470		●		
普通作業員	夜間	人	4.420		●		
バックホウ(クローラ型)運転	後方超小旋回型・クレーン機能付き・排対型(2014年規制) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)吊能力1.7t	日	1.470	単-1-2号			
諸雑費1		%	3.000				
日当たり施工量		m	68.000				
日当たり施工量:68m 諸雑費1は、清掃器具(掃除機)、管路材の接続・切断に要する器具(大バール・大ハンマ・ディスクグラインダ・発動発電機)、導通試験機の損料及び運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。							

単-3号 埋設管路 SGP 100A

1m当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
埋設管路	SGP 100A	m	1	単-3-1			

単-3-1 埋設管路 SGP 100A

100m当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.990		●		
特殊作業員	夜間	人	1.980		●		
普通作業員	夜間	人	5.930		●		
バックホウ(クローラ型)運転	後方超小旋回型・クレーン機能付き・排対型(2014年規制) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)吊能力1.7t	日	1.980	単-1-2号			
諸雑費1		%	3.000				
日当たり施工量:51m 諸雑費1は、清掃器具(掃除機)、管路材の接続・切断に要する器具(大バール・大ハンマ・ディスクグラインダ・発動発電機)、導通試験機の損料及び運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。							

単-4号 埋設管路 SGP 125A

1m当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
埋設管路	SGP 125A	m	1	単-4-1			

単-4-1 埋設管路 SGP 125A

100m当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	1.200		●		
特殊作業員	夜間	人	2.390		●		
普通作業員	夜間	人	7.170		●		
バックホウ(クローラ型)運転	後方超小旋回型・クレーン機能付き・排対型(2014年規制) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)吊能力1.7t	日	2.390	単-1-2号			
諸雑費1		%	3.000				

日当たり施工量:42m  
 諸雑費1は、清掃器具(掃除機)、管路材の接続・切断に要する器具(大バール・大ハンマ・ディスクグラインダ・発動発電機)、導通試験機の損料及び運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

単-5号 地中管路防護板 廃プラ板 600×900mm

1枚当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
地中管路防護板(1)	廃プラ板 600×900mm	枚	1	単-5-1			

単-5-1 地中管路防護板 廃プラ板 600×900mm

100枚当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.225				
普通作業員	夜間	人	0.450				
諸雑費		式	1.000	端数処理			

日当たり施工量:444枚

単-6号 地中管路防護板 廃プラ板 450×900mm

1枚当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
地中管路防護板(2)	廃プラ板 450×900mm	枚	1	単-6-1			

単-6-1 地中管路防護板 廃プラ板 450×900mm

100枚当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.225				
普通作業員	夜間	人	0.450				
諸雑費		式	1.000	端数処理			

日当たり施工量:444枚

単-7号 埋設標示鉄 φ30×30 アルミ合金

1個当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
埋設標示鉄	φ30×30 アルミ合金	個	1	単-7-1			

単-7-1 埋設標示鉄 φ30×30 アルミ合金

100個当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.333		●		
普通作業員	夜間	人	0.667		●		
諸雑費1		%	7.000				

日当たり施工量:300個

諸雑費1は、工具損料、雑材料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

単-8-1 埋設標示プレート 100×50 アルミ製

1枚当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
埋設標示プレート	100×50 アルミ製	枚	1	単-8-1			

埋設標示プレート 100×50 アルミ製

100枚当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.480		●		
特殊作業員	夜間	人	1.920		●		
普通作業員	夜間	人	0.640		●		
諸雑費1		%	7.000				

日当たり施工量:208枚

諸雑費1は、工具損料、雑材料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

単-9号 銘板 アクリル板 250×120

1枚当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
銘板 アクリル板	250×120	枚	1	単-9-1			

単-9-1 銘板 アクリル板 250×120

100枚当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	0.180		●		
特殊作業員	夜間	人	0.720		●		
普通作業員	夜間	人	0.240		●		
諸雑費1		%	7.000				

日当たり施工量:555枚

諸雑費1は、工具損料、雑材料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する

単-10号 舗装版破砕 アスファルト舗装版 15cm<t≤30cm

1m2当り内訳書 諸雑費

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
舗装版破砕 アスファルト舗装版	15cm<t≤30cm	m2	1	単-10-1			

単-10-1 舗装版破砕 アスファルト舗装版 15cm<t≤30cm

100m2当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
土木一般世話役	夜間	人	1.000				
普通作業員	夜間	人	2.000				
バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3) コンクリート圧砕装置(小割機) 開口幅730mm破砕力600kN	日	2.000	(単-10-2号)			
バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	日	2.000	(単-10-3号)			
諸雑費		式	1.000	端数処理			
日当たり施工量:100m2							

(単-1-2号)バックホウ(クローラ型)運転(機-18)

1日当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
運転手(特殊)	夜間	人	1.000				
軽油		L	37.000				
バックホウ(クローラ型)損料	後方超小旋回型・クレーン機能付き・排対型(2014年規制) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)吊能力1.7	供用日	1.500				
諸雑費		式	1.000	端数処理			

(単-10-2号)バックホウ(クローラ型)

1日当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
運転手(特殊)	夜間	人	1.000				
(電力)		kWh	0.000				
軽油		L	34.000				
機械損料1(バックホウ(クローラ型))	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	供用日	1.500				
機械損料2(バックホウ用アタッチメント)	コンクリート圧砕装置(小割機) 開口幅730mm破砕力600kN	供用日	1.860				
諸雑費		式	1.000	端数処理			

(単-10-3号)バックホウ(クローラ型)運転

1日当り

名称	規格	単位	数量	適用	※1	※2	※3
運転手(特殊)	夜間	人	1.000				
軽油		L	34.000				
バックホウ(クローラ型)損料	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値) 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	供用日	1.500				
諸雑費		式	1.000	端数処理			

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
詳細設計業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
歩道詳細設計業務	・【別紙1】による	
電線共同溝詳細設計(予備設計有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計延長 3800m</li> <li>・市街地以外等の延長 120m</li> <li>・予備設計成果 有</li> <li>・各部設計 行う</li> <li>・応力計算ケース数(管路部) 1ケース</li> <li>・応力計算ケース数(特殊部) 1ケース</li> <li>・応力計算ケース数(地上機器部) 1ケース</li> <li>・応力計算ケース数(仮設構造物) 1ケース</li> <li>・箇所数 1箇所</li> </ul>	
打合せ	・業務着手時1回、中間5回、成果物納入時1回 合計7回	
関係機関打合せ協議	・3機関	
合同現地踏査	・1回	
照査技術者による報告	・3回	

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
詳細設計業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
公開用成果品の作成	・1業務	
旅費	・直接人件費の0.63%	
電子成果品の作成	・詳細設計を計上	
その他	・事前調査業務における、試掘及び埋設物探査とBIM/CIM活用業務は、当初計上せず変更対応	

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
調整マネジメント業務(設計段階) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
調整マネジメント業務(設計段階)	・【別紙2】による	
打合せ	・【別紙2】による ・5回/2年 … 計5回	
公開用成果品	・【別紙2】による ・1回/2年 … 計1回	
旅費	・直接人件費の1.49%	
電子成果品の作成	・その他の設計業務を計上	

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
工事業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
所有権移転業務	・工事費に含むことを想定する。	
既存支障施設移設・ 解体撤去・復旧	・当初は計上せず変更対応。	
BIM/CIM活用	・当初は計上せず変更対応。	

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
調整マネジメント業務(工事段階) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
調整マネジメント業務(工事段階)	・【別紙3】による	
打合せ	・【別紙3】による ・3回/年×8年 … 計24回	
公開用成果品	・【別紙3】による ・1回/8年 … 計1回	
旅費	・直接人件費の1.49%	
電子成果品の作成	・その他の設計業務を計上	

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
工事監理業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
工事監理業務	・【別紙4】による	
定例打合せ	・【別紙4】による ・12回/年×8年 …… 計96回	
公開用成果品	・【別紙4】による ・1回/8年 …… 計1回	
旅費	直接人件費の4.15%	
電子成果品の作成	・その他の設計業務を計上	

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
調整マネジメント業務(維持管理段階) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
調整マネジメント業務(維持管理段階)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【別紙5】による</li> </ul>	
打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【別紙5】による</li> <li>・1-2年目 4回/年 = 8回</li> <li>・3-19年目 1回/年 = 17回 … 計25回</li> <li>※1-2年目: 入線・抜柱における調整、協議</li> <li>3-19年目: 維持修繕、定期点検における調整、協議</li> </ul>	
公開用成果品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【別紙5】による</li> <li>・1回/19年 … 計1回</li> </ul>	
旅費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接人件費の1.49%</li> </ul>	
電子成果品の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の設計業務を計上</li> </ul>	

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業  
点検業務(定期点検) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
道路施設定期点検	・【別紙6】による	
打合せ	・【別紙6】による ・5年毎による点検で3回あり、 3回/年×3回 …… 計9回	
公開用成果品	・【別紙6】による ・5年毎による点検で3回あり、 1回/年×3回 …… 計3回	
旅費	・直接人件費の1.49%	
電子成果品の作成	・その他の設計業務を計上	
安全費	・直接人件費の0.155%(安全費率) 安全費率:当該現地の住宅密集度より市街地甲とする	

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道1号茂福電線共同溝PFI事業 点検業務（巡回）

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

国土交通省 中部地方整備局  
三重河川国道事務所 道路管理第二課

## 見積参考資料（積算条件）

工事名	国道1号茂福電線共同溝PFI事業 点検業務（巡回）	（当初）	主たる工種	道路維持工事
間 接 費 名 称		積 算 条 件		
		補 正 項 目	条 件	
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正			
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正		補正しない 補正しない 補正しない 補正しない	
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正		補正しない	
その他	ICT施工補正 週休2日の補正		補正しない 補正しない	発注者が金銭的保証を必要とする場合

# 見積参考資料

工事名	国道1号茂福電線共同溝PFI事業 点検業務（巡回）（当初）					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路維持		式		1					
維持管理工事		式		1					
巡回工		式		1					
通常巡回	目視点検：1回/月	回		228		< 1 回当たり > 通常巡回 目視点検：1回	回	1	
直接経費	ライトバン運転	回		228		< 1 回当たり > 日常点検経費等	回	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）；除雪工補正=補正無し；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=しない			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=しない			

# 見積参考資料

工事名	国道1号茂福電線共同溝PFI事業 点検業務（巡回）（当初）					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）＜データ無し＞

凡 例	○：該当する管理費区分が含まれている										
工事名	国道1号茂福電線共同溝PFI事業 点検業務（巡回）					（ 当 初 ）		事業区分			
								工事区分			
	細別名称	規格	単位	数量							

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 補修業務

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

国土交通省 中部地方整備局  
三重河川国道事務所 道路管理第二課

## 見積参考資料（積算条件）

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 補修業務	(当初)	主たる工種	道路維持工事
間 接 費 名 称		積 算 条 件		
		補 正 項 目	条 件	
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正			
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正		補正しない 補正しない 補正しない 補正しない	
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正		補正しない	
その他	ICT施工補正 週休2日の補正		補正しない 補正しない	発注者が金銭的保証を必要とする場合

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 補修業務 (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路維持		式		1					
維持管理工事		式		1					
補修・修繕工		式		1					
マンホール蓋取替	1基/年	基		19		< 1 基当り > マンホール蓋取替	基	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費 (率計上)		式		1		施工地域補正=補正無し(地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合); 除雪工補正=補正無し; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=しない			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=補正無し(地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合); 緊急工事補正=しない; 砂防・地滑り工事補正=しない; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 補修業務 (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）＜データ無し＞

凡 例									
	○：該当する管理費区分が含まれている								
工事名	国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 補修業務				（ 当 初 ）	事業区分			
						工事区分			
	細別名称	規格	単位	数量					

### 国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 詳細設計業務 歩掛表

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1km当たり
歩道詳細設計							1km当たり
歩道詳細設計							
設計計画		0.50	0.50				
現地踏査			0.80	0.80	1.70		
平面設計			0.50	0.50	0.50	1.00	
縦断設計				0.50	0.50		
横断設計				0.50	1.00	1.00	
小構造物設計				0.70	0.70	1.70	
用排水設計					0.50	0.50	
設計図				0.50	1.50	1.50	
数量計算				1.50	1.00	3.10	
照査		1.00	0.50	0.70	0.70		
報告書作成				1.00	0.50	1.00	
合計		1.50	2.30	6.70	8.60	9.80	

※直接経費:電子計算機使用料(直接人件費の2%)











## 国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 点検業務(巡回) 歩掛表

【別紙7】

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路維持							1式
							19年間(228ヶ月)
維持管理工事							1式
巡回工							
通常巡回					70.68		228回当たり

※直接経費: 日常点検(ライトバン運転費2.5時間/回)

国道1号四日市茂福電線共同溝PFI事業 補修業務 歩掛表

【別紙8】

作業内容	一般土木 世話役	特殊作業員	普通作業員		交通誘導員 A	交通誘導員 B	備考
道路維持							1式
							19年間(228ヶ月)
維持管理工事							1式
補修・修繕工							
マンホール蓋取替			2.20		2.20		19基当たり

※マンホール蓋取替: 諸雑費(まるめ)、材料費は未計上。

国道 1 号四日市茂福電線共同溝 PFI 事業  
その他施設費（割賦手数料） 見積参考資料

工種	追加事項	備考
その他施設費 （割賦手数料）	I. 基準金利の料率は、国債金利 20 年ものを基準金利とし、利ざや（スプレッド）0.5%を足したものを想定して計上している	